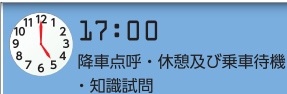


乗務員さんの一日

このタイムスケジュールは一例です



出勤

電車は朝早くから夜遅くまで走っているため、乗務員の勤務は早番、遅番などのシフト制になっています。乗務員はシフトに合わせて、一般的な会社とは異なる時間に出勤することがあります。

呼気チェック



乗務員はお客様の安全に関わる仕事であり、酒気を帯びていないかの呼気チェックを行います。また、静脈認証、顔認証により、本人であることを確認します。

出勤点呼・手帳記入・時計整正



自分の健康状態を申告し、その日の注意事項を監督者と相互に確認し、手帳に書き留めます。正確な運行を行うため、毎日、時計を秒単位まで合わせます。



携帯鞆点検



乗務中に持ち歩く携帯鞆の中身を点検します。携帯鞆の中には、マニュアル、合図灯、発光器、救急用品、携帯トイレなどが入っています。

乗車点呼



乗務する前には、乗務する列車番号、引継ぎ場所、注意事項などの乗務内容について監督者と確認し、私物の携帯電話などを所持していないことを報告します。

乗車



一回の乗務で担当路線を一往復します。

降車点呼



乗務終了後、異常がなかったかななどを監督者に報告し、次の乗務を確認します。

休憩・夕食など



降車点呼終了後、次の乗務まで休憩し、気分をリフレッシュします。また、乗務員は知識を維持するために毎月テストが行われており、休憩時間に各自で行います。

運転士の乗務



ハンドルやマスコンなどを操作して電車を運転します。ATOが導入されている路線では、ボタンを押すだけで自動的に発車から到着まで運転されます。ATO導入路線であっても、技能維持のため手動運転を行う場合があります。ワンマン運転の路線では、車内放送や駅での乗降扉の開閉も行います。

例 日比谷線の場合

北千住～中目黒間の一往復を一行路として、日勤の場合は**3行路**、宿泊勤務の場合は、午後出勤して**3～4行路**、仮眠後の翌朝に**1～2行路**勤務します。



車掌の乗務



電車の扉の開閉、出発・到着時の安全確認などを行い、定時運行を支えています。また、車内アナウンスや空調を操作し、安心で快適な車内環境の創出に努めます。トラブルが発生した場合には、お客様の安全を第一に行動する保安要員としての役割も担います。